

1 中学準備1

物語…直接えがられない気持ちを読み取る

要点

物語…直接えがられない気持ちを読み取る 要点



映像

▼▼ 「小学国語」と「中学国語」のちがいは

小学国語

- ・読みやすい言葉で書かれた文章が多い。
- ・記号を選ぶ問題やぬき出し問題が多く、記述問題は文中の言葉をつなぎあわせて答えられるものが中心。
- ・答える内容が、設問部分と近くにあつて、答えを見つけやすいことが多い。

中学国語

- ・使われている言葉や文章の内容が難しくなり、また、文章が長くなる。
- ・記号を選ぶ問題は、じっくり読まないで正解がわからないレベルになり、記述問題は、自分の言葉でまとめなければいけないものが増える。
- ・文章全体をとらえて、筆者の意図を答えたり、テーマをおさえたうえで答えたりする設問が増える。

▼▼ 中学校の国語では、教科書の文章を授業を通して学びだ
けてはなく、初めて見る文章を自分で読み取るためにも、
対策が必要です。学校での学びにプラスして、国語の学
習をしていきまじょう。

まず、第一回目では、「物語」を題材にして、学習を進めていき
まじょう。

物語には、いろいろなできごとがえがかれています。できごとが
起ったことで、登場人物がどのような気持ちになっているのかを
読み取るとは、物語をきちんと理解するうえでとても大切です。
中学校の「物語」では、「文章のここにこういふふうにかかれて
いる」と、登場人物の気持ちがわかりやすくえがかれているものだ
けでなく、文章の中では、はっきりとえがかれていない登場人物の
気持ちを読み取ることも求められてきます。

それでは、どのようなことに注意して、登場人物の気持ちを読み取ればよいのでしょうか。次の四点について、順に確認していきましょう。特に、②③④に注意が必要です。

登場人物の気持ちを読み取るためには……

- ① 気持ちが直接えがかれているところから読み取る。
- ② 人物の行動や表情から読み取る。
- ③ 人物の言葉や口調から読み取る。
- ④ 情景から人物の気持ちを読み取る。

① 気持ちが直接えがかれているところから読み取る。

「うれしい」「くやしい」などの言葉や、「〜という気持ちになった」「〜と思った」などの表現に注目して読み取ります。

② 人物の行動や表情から読み取る。

行動をえがいたところに人の気持ちがよく表れている場合があります。また、表情は気持ちが顔つきに表れたものですから、気持ちを読み取る大きな手がかりになります。

例 先生は何度もバンザイをくり返した。

↓ 喜んでいる気持ち

例 さちは顔を真っ赤にしてうつぶむいた。

↓ はずかしい気持ち

例文で確認!

次の文章を読んで、マリコがミュキの言葉を、どんな気持ちで聞いたのか、考えてみましょう。

マリコは次の日、バレーボールの練習を休んだ。夜、おかあさんが「ミュキちゃんが来てくれたわよ」と言う。急いで玄関げんかんに行くのと、キャプテンのミュキが立っていた。

「コーチの言葉なんて気にしないでいいよ。コーチがまたマリコをこまらせるようなことがあったら、わたしが言ってあげる。だいじょうぶだよ。だから、明日は必ず来てよ!」

元気に、たのしく、ミュキは言った。かぎりなく明るいその目。ミュキは、いつも強く、思い通りに生きている子なんだ。マリコはミュキから目をそらせた。ミュキのようになれたら、練習を休むなんてことしなかった。

(Z会編集部書きおろし)

ミュキのマリコへの言葉には思いやりがこもっていますね。この言葉から、マリコはミュキの気持ちをうれしく思った、と読み取っていませんか? でも、続く部分に、「マリコはミュキから目をそらせた」とあります。マリコはミュキの言葉をそのまま受け入れることができている、つまりこの言葉を喜んではいないのです。このように、言葉の内容にだけ注目するのではなく、その言葉の近くちかくに書かれている登場人物の様子に注意して読むことが必要です。

③人物の言葉や口調から読み取る。

口調とは、言葉の調子や話し方のことです。大声で言う場合や、やさしくささやく場合などいろいろあります。

【例】「ありがとう」と弟は明るい声で言った。

↓喜んでいる気持ち

【例】「もうやめてったら」と妹はさげぶように言った。

↓おこっている気持ち

④情景から人物の気持ちを読み取る。

情景とは、景色のことです。物語では、情景に人の気持ちが表れている場合があります。

例文で確認！

次の文章を読んで、「ぼく」の気持ちを考えましょう。

「昨日は、ひどいことを言ってごめん。」

ぼくは、思いきって切り出した。でも、アキは泣くのをはましているような表情で、口をきつと結んだまま、教室から出て行ってしまった。

(あの一言で、こんなにアキを傷つけてしまったなんて……。)
ぼくはそこからしばらく動けなかった。ふとまどの外を見ると、空はどんよりくもっていて、今にも雨が降り出しそうだった。

(乙会編集部書きおろし)

後悔し、悲しくなっている「ぼく」の気持ちが、「空はどんよりくもって」や「今にも雨が降り出しそうだ」という情景から読み取れますね。このように、人物の気持ちが直接えがかれていなくても、場面の情景がその気持ちを表現していることがあるのです。



かけしポイント

「気持ちが直接えがかれているところ」「物語のストーリー」をおさえるだけでは読み解けないのが、中学校で学習する物語です。「動作や表情、言葉や口調、情景」をチェックし、線を引きながら読み進めていくようにしましょう。それらを根拠として、「気持ち」を確実に説明できるようにすることが大切です。